



2013年度
vol. 22
2014
1月29日

*PTAかわら版は、市内小中学校の校長先生およびPTA 会長様あてに不定期で刊行しているニュースレターです。役員・職員の皆様にご覧ください。

内閣府主催 インターネットフォーラム開催

続発するインターネット関連事件からどう子供を守るか！



第1日目のパネルディスカッションの様子

1月23日(木)・24日(金)に太白区文化センター楽楽ホールにて、「第6回 青少年のインターネット利用環境づくりフォーラム in 宮城」が開催されました。第1日目には総務省から「東北6県における青少年安心ネット環境づくりに向けた取り組み」について説明があった後に、ネット教育アナリストの尾花紀子氏が「スマホの普及で変化する青少年コミュニケーション」について、インターネットユーザー協会 小寺信良氏が「子供たちはなぜ繋がりがかるのか」という題でお二人の基調講演がありました。そして、最後に「青少年のインターネット利用環境整備に関する地域連携の取組について」というテーマでパネルディスカッションが行われ、市P協の内田幸雄会長も参加され

ました。内田会長はミニプレゼンでは地域の子供たちの実態などを最新の調査の結果からお話されました。第2日目はグリー株式会社とNTTドコモモバイル社会研究所の2つの企業からインターネット社会での安心・安全の取組についてお話がありました。このフォーラムは全国8箇所で行われておりますが、内閣府としても、さらに子供たちのインターネット利用環境整備と安全の確保を図っていききたいということでした。PTAとしても時代に遅れないようにインターネット世界の現状を理解していく必要を感じました。

福岡市PTA協議会より富沢中が招待されました

「もうひとつの『東日本大震災復興支援』」の集いへ



昨年12月24日から26日まで、富沢中の庄子修校長先生と生徒4人が福岡市PTA協議会主催のPTA啓発研修大会「もうひとつの『東日本震災復興支援』」の集いに招待され、交流を深めて参りました。福岡市P協は昨年行われた仙台市PTAフェスティバルにも19名もの方々が来て下さり、被災地視察も行いながらフェスティバル当日は出店等大変ご協力をいただきました。今回は、被災地から遠く離れた福岡の地でいかに「被災地の子どもたちに寄り添う」ということをテーマに実施されたものです。富沢中は市内の中学校との交流や研修大会会場に集まった1200名の方々に、震災復興の歩みと仙台市の故郷復興プロジェクトの様子などを発表しました。庄子校長先生も震災の時の学校の事などをお話され、最後に復興ソング「仲間とともに」を富沢中の生徒の一人が独唱したそうですが、会場に集まっておられた方々は皆さん感動して涙を流していたそうです。

お願い

「書き損じハガキ」の回収をお願いしておりますが、経費節約のため、回収された枚数が400枚位程度までは巡回郵便でお送りいただければと思います。